

2020年東京大会を来年度にひかえた

我が校のオリンピック・パラリンピック教育（概要版）

中野区立中野中学校

○本校（園）のオリンピック・パラリンピック教育で育成したい幼児・児童・生徒の姿

4つのアクションの中で「支える」に重点をおき、「ボランティアマインド」の醸成を図る。



○主な実践

アスリート等を招いて

オリンピックやパラリンピアンを支える講師を招聘し、アスリートを支えることに至る経緯や、やりがいについての講演を通して、生徒が学校内外で実施しているボランティア活動に関連付けていく。

世界の国々や日本の文化を理解する

早稲田大学の留学生を招聘し、複数の国の文化について講演してもらう。事後学習で作成した新聞を通して、様々な国の文化に触れるきっかけとする。

平和で誰もが共生できる社会をめざして

他者のために活躍している団体や企業からの協力のもと、社会で貢献している方々と触れ、ボランティアマインドの醸成を図る。



○来年度（オリンピック・パラリンピックイヤー）への思い

東京都に在住している中学生として、オリンピック・パラリンピックの開催に貢献できることは何かを自ら判断し、行動できるように教育活動全体を通して育成していく。